

SSC 地理クラブ 第1回ストーリーマップコンテスト2019（高校生の部）1位

esri ジャパン社主催の『第1回ストーリーマップコンテスト』において、本校地理クラブの生徒が作成した作品が1位になりました。タイトルは「学校周辺の自然から SDGs を考える - 京都市伏見区大岩山を事例として -」（早野 七美 ・大下 滯花 ・小山 恭佳 ）で附属高校に近い大岩山で実際にフィールドワークを行った成果を GIS（地理情報システム）ソフト（Arc GIS）を用いてまとめました。身近な自然から、ごみ問題やエネルギー問題など SDGs についての理解を深めていきました。

高校生部門



学校周辺の自然から SDGs を考える - 京都市伏見区大岩山を事例として -

京都教育大学附属高等学校 早野 七美 氏・大下 滯花 氏・小山 恭佳 氏

京都教育大学附属高校に近い京都市伏見区にある自然豊かなと言われる大岩山。歴史を調べてみると、かつては大量の産業廃棄物が投棄され、深刻な環境問題を抱えていた。行政や地域住民が協力して、「深草トレイル」のコースとして整備されているが、現在もゴミの放棄が目立ち、整備後の維持の難しさを感じた。一方、頂上付近にはゴルフ場の跡地にソーラーパネルが設置されており、環境にやさしい面も見られた。学校の身近な自然である大岩山を通して、SDGs について考えていきました。

(esri ジャパン <https://www.esri.com/landing-page/storymap-contest-2019/>)